

わたしたちが運ぶのは未来です

**運輸省**



# みなと しみず

**発行所**

**第五港湾建設局**  
**清水港工事事務所**

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号  
TEL 清水 <0543>52-4146(代)



清水港日の出地区

## 静岡県FAZ事業 日の出地区、庵原地区

▼輸入促進地域  
FAZ（フォーリン・アクセス・ゾーン）輸入促進地域は、港湾や空港の周辺に立地、政府系の補助金や税制上の優遇措置を活用し、輸入品の展示場や輸入品の加工、卸売り施設などを整備することにより輸入の円滑化及び輸入貨物量の増大を図り、日本の貿易黒字拡大に歯止めをかけることを目的としたもので、平成4年7月16日「輸入促進・対内投資事業円滑化臨時措置法」が政令で定められた。（平成8年5月迄の時限立法）

▼FAZ整備事業への取り組み  
平成4年度に静岡県、清水市、清水商工会議所の三者よりなる清水市FAZ推進プロジェクトチームが組成され、同年度ジェットロ静岡貿易センター内に「清水FAZ調査委員会」を設置し、関係企業へのアンケートも含めこの委員会のなかで、「静岡県のFAZ基礎調査報告書」をまとめている。

この調査結果では、清水港周辺においてFAZ整備事業を推進するポテンシャルは相当高いとの結論を得ており、この調査結果をもとに今年度中のFAZ地域指定承認を目標としている。

具体的には、FAZ事業推進母体となる第3セクターの前身とするFAZ推進協議会の発足を今年度10月を目前にしており、8月18日に関係する企業、団体に対しての設立説明会を既に終えている他、詳細なFAZ整備計画策定へ向けての委員会も設置されており、当所所長も委員として参画している。

▼他のジェットロ調査対象地域  
平成4年度のジェットロ調査対象地域としては、この静岡県清水港プロジェクトの他に、茨城県常陸那珂港プロジェクトを始めとして全国で10地域が既に調査を終えており、今年度中の計画承認に向けてのぎを削っている。

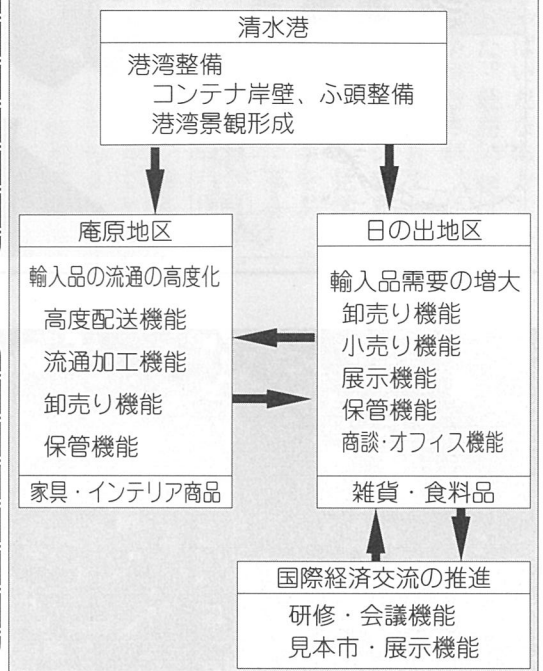
今年度のジェットロ調査対象地域は、青森県八戸港プロジェクトを始めとする7地域の調査が、また、運輸省港湾局の調査費による3地域（川崎港他）の計画作成も決定しており、FAZ事業をめぐる動きは、益々活発化している。

▼清水港プロジェクトの概要  
静岡県清水港プロジェクトの計画地区として日の出地区、庵原地区の2地区が計画されている。

それぞれの計画概要は、次のとおり。

①日の出地区  
老朽化した倉庫などを建て替え、保管、荷捌き施設を近代化するほか、卸売企業など

### 清水港 F A Z 構想の概念図



#### 五建望月事務次長が就任

第五港湾建設局事務次長に 9月1日付で望月康弘次長(前大臣官房福祉課福利厚生企画官)が就任され、9月20日清水港工事事務所に挨拶に来られました。

望月次長は、「当事務所は大きなプロジェクトを抱えており、その実現に向けて皆さんと一緒にがんばりたい。港湾工事につきましては、安全第一と考へ、十分注意を払っていただきたい。また、家族の健康についても同様です。私は長野県小諸の出身で、静岡県は近いところではあります。初めてであり、これからは現場等に足を運ぶ機会もあるかと思いますが、よろしく願います。」と語られた。

#### 五建下川事務次長が退官

8月31日付の退官にあたり、下川次長が清水港工事事務所に挨拶に来られました。

次長は挨拶の中で、「昭和36年に二建から伊勢湾港湾建設部へ出向して今日までの32年間、五建に勤務いたしました。清水港については特に思い深いものがあります。昭和56年から2年間、私にとっては初めての課長職として、下田港防波堤並びに清水港日の出埠頭の漁業補償問題解決のため、東奔西走したことが思い出されます。今後は、しばらく充電期間をおきまして、再び皆さんとお会い出来ることと思いますので、よろしくお願ひ致します。」と語られた。

のオフィスやショールームも入居する複合施設を配置する。また、清水港周辺への集客を対象とした、輸入雑貨の販売や見本市など小売りやイベント機能も備える予定。

#### ②庵原地区

興津と袖師のコンテナ埠頭の背後地にあたる山間部を開発。建設予定の第二東名や中部横断道と直結し、住宅関連商品を中心とした輸入品の全国への配送基地を形成するとともに、流通する輸入品を活用した流通加工や卸売り基地としての整備も図る。

### 静岡県のみなとシリーズ

#### 沼津港

沼津市は、大正12年7月、沼津町、楊原村が合併して誕生し、今年丁度市制施行70周年にあたる。

合併当時の人口は、わずか3万4千人強であった同市は70周年を迎える今日、人口21万2千人余りを数える(平成4年10月現在)静岡県でも有数の大都市へと発展した。

明治26年に沼津御用邸が造営されているように、美しい景観と温暖な気候の沼津市は、古くから第一級の保養地として全国に知られ、奥駿河湾ご

しに見る富士山の景観や街の中心部をゆつたりと流れる狩野川、市内を一望出来るたおやかな香貫山など自然豊かな街である。

この温暖かつ豊かな土壌に育まれ、お茶やみかんに代表される農作物、また、全国に向けて出荷される水産物と農林水産業も活発である。特に水産業については、取る漁業から育てる漁業への転換も進められ、水産資源の確保も積極的に行われている。

同市の工業は、電気機械、一般機械、金属製品等の近代工業都市として発展の道を歩んでおり、東海道メカropolisの一角に位置する同市は、首都圏との関わりの中で、新しい時代に対応したハイテク化が図られつつあり、工業団地の造成や先端産業の立地が進み、高付加価値化などの優位性が高まってきている。

#### 沿革

沼津港は、狩野川の河口に位置し、古くから上流よりの流下土砂に悩まされてきた。

沼津港の本格的な改修は、昭和8年12月より始まり、狩野川河口部右岸のドック式泊地の開削に着手し、現在の内港が誕生。戦後沼津市を中心とする周辺市町村への工場群の進出がめざましくなり、諸物資の集散の激増と漁業の飛

躍的な発展に対応するため、昭和23年から外港改修に着手、現在に至っており、現有施設は、-7.5m岸壁1バース(耐震)、-5.5m岸壁5バース、同深ドルフィン1バース、-4.0~-3.5m物揚場延長620mとなっている。取扱貨物量は、平成4年において34万7千トンであり、主要取扱品目は化学薬品、紙、パルプ、砂利・砂・石材、水



沼津港

産品等となっている。その他、沼津港と戸田、松崎方面等を結ぶ定期航路があり、乗降客数は平成3年に35万7千人を数えている。

#### 沼津港MTP

沼津港マリンタウンプロジェクト調査は、平成4年度に第五港湾建設局、静岡県及び沼津市が計画を策定しており、現在その計画について細部調整がおこなわれている。計画は、内港地区を中心に親水アメニティ機能ゾーンとしてミニイベントや港の展望が楽し





フローティングドックで製作中のケーソン (下田港内)

然がいっぱいだなあとしみじみしました。最高 50 km はしれて、あつかったのが、だんだんすずしくなってきました。あつかったジャージをまた着なおして、いろいろ見学しました。黒船の人に手をふったり、工事している人に手をふったりしました。係長さんがいろいろ説明してくれて、とても楽しかったです。海底をみた時は、海がにごってとても残念でした。もうちょっと見たい気がしたけれど、最後におもいっきりはりました。船の後ろを見ると、船のせいで、なみができ、まるでおいかけてくるようでした。風はすごい、いきおいで吹き、とばされそうでした。また、どこか行く時は、船で旅行なんていいなあとかごろ思うようになりまして。本当にとってもおもしろかったです。

### 船に乗った感想

一年B組 森 仁美

昨日、柿崎の浜に 1 年生全員で船に乗りに行きました。船はしもだという名の新しい船で、クルザーみたいで、かっこよかったです。私は 4 班だったので船に乗るのは 1 番最後でした。船に乗り終わった人に感想を聞くと、みんな「楽しかった」といいました。ずっとまっていたので、乗る時にはとつてもうれしかったです。乗ってから、まず係の人から防波堤の作り方を聞き、それに使われるケーソンを見ました。ケーソンは、すごく重たいけれど、中に入っている水をぬくと水にうくと聞いた時は、びっくりしてしまいました。その後、下において、海底観測窓を見ました。その日は、ちょうど潮の流れがわるく、緑色でなんにも見えませんでした。とてもざんねんです。それからみんな外に出て、おもいおもいの場所に座り、みんなで、「風がきもちいいー」などといっていました。私は、手すりに座っていたけれど、まん中に座って、気持ち悪いと言っていた人もいたので、とてもかわいそうでした。港にもどってきてもっと乗りたいと思います。またこういうきかいがあつたら、乗りたいと思います。

### 工場だより

御前崎工場

#### 御前崎灯台ライトアップ

明治 7 年に築造され御前崎町のシンボルとして親しまれてきた御前崎灯台のライトアップが千二百ワットの投光器二基を設置して始まりました。昼間の灯台とは違い幻想的な姿を夜空に浮かび上がらせています。

#### ライトアップされた御前崎灯台



ライトアップ事業は、みさきの広場、「地球が丸く見えるん台」、ねずみ塚広場、「夕日と風が見えるん台」、潮騒広場などを結ぶ約 1.5 km の遊歩道や展望台、広場を整備した御前崎ケーブルパーク整備事業の一環として行われたものです。

ライトアップは、日没から午後 10 時まで、毎日行われます。

(大野昌彦)

### 防波堤見学

下田工場

#### 下田市の市制モニター

下田市の第五回市制モニター会議が八月十一日市役所で開かれました。

この市政モニター制度は市民の建設的な意見や要望を聞き市政運営の参考とするのを目的とされています。

この日は下田港防波堤建設現場見学を行うことになっており、モニター一行が当工場を訪れました。

会議室で第五港湾建設局組織の紹介の後、現在建設中の防波堤は下田港の避難港としての機能充実を図る目的であること、また、二次的効果として津波対策にも有用となり得ることや景観についても検討していることを説明し、その後、監督測量船で港内を見学して頂きました。

当日の下田港内は、既存の



モニターによる港内見学

### 官内の動き

- 9月 1日 清水港 LNG 船舶航行安全対策委員会 [静岡]
- 7日 下田港新構造防波堤施工技術調査検討会 [静岡]
- 13日 五建局長が静岡県知事、清水市長と面談
- 20日 望月新事務次長県内挨拶
- 10月 20日 東海地区港湾整備促進大会 [名古屋]
- 11月 15日 日本丸・海王丸同時寄港清水港多目的上屋基本計画調査委員会
- 4日 清水港多目的上屋基本計画調査委員会 [新潟]
- 10月 12日 第 43 回直轄港湾技術研究会
- 18日 第 27 回管内港湾工事報告会 [名古屋]
- 25日 26日 主管部長会議 [四日市]

### \* 3 度目の美酒 \*

防波堤までは静穏でしたが、沖で展開している建設中の防波堤現場では波が高く、防波堤の役割を肌で感じて頂けたかと思えます。(安西良治)

雨で順延されていた第 25 回管内野球大会の決勝戦が、9 月 11 日、清水市の東海大 1 高グラウンドにて行われ、清水港チームが本局チームを敗り、4 年ぶりの優勝に輝きました。本局 0000000000 清水港 002010X3